

# The Three Peace Times

Three Peace : More fortunate than happiness.

## Vol.4



### もくじ

- 理事長ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.2
- 障害者差別をなくす為の京都府条例づくり・・・・ p.2
- スリーピース・まごので合同セミナー@宮津・・・・ p.3
- JIL関西ブロック合宿研修・・・・・・・・・・・・・・・・ p.3
- くねっと調査に参加して・・・・・・・・・・・・・・ p.4
- JIL全国セミナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.5
- まったり忘年会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.6
- 今年の抱負・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.6～7
- 年間活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.8
- アクセス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.9
- 後援会員さんの募集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.10
- 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p.10

きゅうねんちゅう たいへん せわ  
旧年中は、大変お世話になりました。

さくねん こくれん しょうがいしゃけんりじょうやく ひじゅん しょうがいしゃさべつつかいしょうほう せいりつ こくさいてき なが  
昨年は、国連における障害者権利条約への批准や、障害者差別解消法の成立など、国際的な流れに  
お 追いつくための動きがありました。また、きょうとふ しょうがいしゃさべつ しょうとふじょうれい  
追いつくための動きがありました。また、京都府では、障害者差別をなくすための京都府条例づくりが  
すす きょうとふ しゅさい けんとうかいぎ しょうれいないよう ほうこうせい いってい けつろん だ きょうとふ ていしゅつ  
進み、京都府が主催する検討会議において、条例内容の方向性に一定の結論が出され、京都府に提出さ  
れました。

しょうがいしゃ お かんきょう いぜん きび しょうきょう たと しせつ ふじゆう  
しかし、障害者の置かれる環境は依然として厳しい状況があります。例えば、施設などで不自由な  
せいかつ し しゃかいけいけん きかい うば しょうがいしゃ おお むりかい むかんしん  
生活を強いられ、社会経験の機会を奪われている障害者はまだまだ多いし、無理解と無関心からくる  
ごかい こころ ことば たいど きず  
誤解が、心ない言葉や態度によって傷つけられたりしています。

ことし しょうがいしゃ ちいきせいかつ しょうがい たい りかい ひろ かつどう おこな く  
スリーピースでは、今年も障害者の地域生活や障害に対する理解を広げていく活動を行い、暮らしや  
すい ちいきしゃかい めざ ことし ことし こうざ かいさい  
すい地域社会を目指していきます。今年、ピアカウンセリング講座の開催にもチャレンジしていきま  
す。

ほんねん ねが いた  
本年もよろしくお願い致します。

## ●障害者差別をなくすための京都府条例づくり

いまきょうとふでは、しょうがいしゃ さべつ しょうとふ しょうれい おこな  
いま京都府では、障害者差別をなくすための京都府条例づくりが行われています。

へいせい ねん がつ しょうがい どうじしゃ がくしき けいけんしゃ きぎょう だんたい さまざま ひと あつ けい かい きょうとふ  
平成24年3月から障害当事者や学識経験者、企業団体など、様々な人が集まり、計13回の京都府が  
しゅさい けんとう かいぎ しょうがい どうじしゃ ちゅうしん けんとう ぶかい けい かい おこな たちば りかい  
主催する検討会議と、障害当事者を中心にした検討部会を計14回にわたり行い、それぞれの立場を理解  
し合い、最終的には検討委員の総意として条例の方向性が示されました。

しかし、昨年10月に実施されたパブリックコメント（条例内容の方向性について広く市民の意見を  
ほしゅう さい きょうとふ ないよう うす  
募集）の際、京都府から出された内容はあまりにも薄いものでした。

がつ ぶぎかい ていしゅつ せいりつ みこ きょうとふ たかめ ちゅうしん さくねん  
2月の府議会に提出・成立する見込みですが、気運を高めるためスリーピースが中心となり、昨年10  
がつ けいぞく しじょう かわら まち くぼ がつ にち ど にしじんおり かいかん きょうとふ し かみぎょうく とち  
月から継続して四条河原町でピラ配りを、2月8日（土）には西陣織会館（京都市上京区）にて「共に  
あんしん く しょうと しょうがいしゃ けんり じょうやく ひじゅん かんぜん じっし きょうと じっこう  
安心して暮らせる京都デザインフォーラム」が、障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行  
いいんかい しゅさい おこな しょうれいせいいてい ぎろん はんえい きょうとふ しょうれい さくてい  
委員会の主催で行われました。条例制定にあたり、これまでの議論を反映した京都府条例の策定をし  
てほしいものです。



## ●スリーピース・まごのて合同セミナー@宮津

去る11月16日、京都府宮津市にて「自立は可能か」をテーマに、まごのて西陣事業所さんと合同セミナーを開催しました。今回は、支援学校に在籍しておられる生徒さん、先生方、将来地域で生活したいと望んでおられる方などを対象としたものです。セミナーの前半では、スリーピースの白杉と長谷川が自らの経験を踏まえて、障害のある人たちの自立とは何か、自立生活センターの役割などについて語り、後半では、まごのて西陣事業所の廣瀬さんから障害者総合支援法の解説などがありました。会場にいられていたお客さんも交えて終了予定時間を30分も超える大激論が展開され、大変有意義なセミナーとなりました。

私たち障害のある人たちの生活は、その人の強い意志のもと、さまざまな福祉サービスを活用しながら成り立っています。しかし、その福祉サービスは地域によってバラつきがあり、地域で生活したくてもできない人たちが大勢います。このセミナーでは、改めてそのようなことを感じました。これからも、障害のある人たちが一人でも多く地域で暮らせていけるよう、サポートしていきたいと思っています。



## ●JIL関西ブロック合宿研修

昨年11月19日（火）20日（水）の2日間、JIL関西ブロックの研修が大阪市の舞洲で行われ、スリーピースからも参加しました。初日には「障害者差別をなくすための京都府条例」の動きについて話す時間が設けられており、条例づくりに関わってきた日本自立生活センターとスリーピースで話しました。日本自立生活センター所長の矢吹氏が条例検討の経緯や京都府に提出された内容について、白杉が検討段階での様子や条例を広げる取組みについて話しました。

2日目は、それぞれが抱えている悩みを出しあったり、JILピアカウンセリング委員会が担当の研修で、それぞれの思いを共有し、それぞれの大変さを感じながら自身のエンパワメント（力を取り戻す）になる機会となりました。



## ●くねっと調査に参加して感じたこと

波形手すり（以下、くねっと）という手すりを皆さんはご存知ですか？  
 最近、公共交通機関や街中、建物などに増えてきています。波形というだけあって形状はクネクネとした形です。メーカー側は階段の昇降時に足腰部への負担軽減を図ることができるユニバーサルデザイン製品として言われていますが、しかし常に手すりを持たないといけない人達にとって本当にくねっとは使いやすいのかを実際に検証して調査をしてきました。

私も正直くねっとの存在を知りませんでした。この調査に参加をしていろいろな事を感じ、また不安感も同時に覚えました。  
 今までいろいろな場面で普通に使ってきた手すりでしたが、何らかの障害がある人など、手すりを必要としている人にとってはなくてはならないものであり、身体を預けて支えたりする為、安全でないといけないということはとても重要なことだと改めて感じました。

特に外出をしていて公共交通機関や街の中で、手すりが安全だと思えなかったら、安心して利用できるものにはならないし、不安に繋がってしまいます。

やはり、手すりを必要としている人に話を聞き、それを受けて安全に利用できるものを作って欲しいと感じました。そうしていくためには利用している私達が声をあげていくことが大事であり、伝え続ける事をしていきたいと思えます。



●JIL全国セミナーに参加して

平成25年12月16日(月)～18日(水)アクロス福岡にて、JILの全国セミナーが開催されました。スピーチは三日目に参加しました。

中でも印象に残っているのは、鈴木一成さん・浅川都さんによる「24時間、介助が必要な重度知的障害者の自立支援」の講演です。それぞれのセンターで関わってきている重度知的障害のある方の事例をお話してもらいました。重度の知的障害の方への関わり方や、支援の方法・工夫、また日々の生活の中で起こってくる課題に向かってどのように本人を中心としてサポートをしていくのか?という姿を映像で見、話を聞きながら考えることができました。

話の中で、支援をする際にヘルパーに求められる大事なことは一人ひとりの色々な違いを受け入れることができ、感情的にならなかつたり、コミュニケーションを通して本人はもちろん、センター内でも関係性を十分に取ることが必要になってくると、経験を含めて聞いたことでその必要性が伝わってきました。

また、当事者同士の繋がりも重要でありピアサポートの支援や、当事者スタッフも一緒にその方とどう関わっていくのか、どうサポートしていくのかをセンター内みんなで考えていくことが、その人の日々の自立生活に大きく繋がることであるということを感じられたことが大きな収穫でした。

大切なのは、どんな重度の障害があってもその人の想いというものは絶対にある、それを感じてありのまま受け入れ、周りがサポートしていくこと。そして地域で生活をする一人ひとりの障害者が居ることが、その人自身も、また周りの人も互いに影響しあい、本来ある力を発揮し、そして色々な人が支え支えられることによって誰もが暮らしやすい社会になっていくのではないかと思います。



# ●まったり忘年会

「障害の種別、団体の垣根を越えて集まろう」と昨年12月30日、自身体験室ココロさんと共催で忘年会を開催しました。当日は、自身体験室の利用者さんとスタッフのみなさん、私たちスリーピースの利用者さん、スタッフを含め20名ほどの参加。鍋料理やビンゴ大会などを楽しみました。ビンゴ大会で一等賞を当てたKさんは「まさか自分が一等賞を当てるなんて…。ここで運を使ったんで、来年(2014年)は、いい年になるんやろか、ちょっと不安です」と一言。その瞬間、会場から笑いが起こりました。

スリーピースでは、今後もいろいろな人たちとの繋がりが広がっていくようなイベントを企画、開催していきたいと考えています。また、以前から開催している例会「まったり会」は、今年度も開催いたしますので、皆様のご参加を心からお待ちしております。



## ●職員コメント『今年の抱負』

白杉 眞：論文出筆一本、学会発表一回を目指します。

高木 文一：今年の抱負は「進路を決める」です。早く就活終わらせて遊びたいです。

宮崎 由策：字がきれいな人は、心もきれいだというので、字がきれいになるように練習します。

中澤 正治：いつも心に太陽を。これは自分が尊敬するアーティストの曲名です。今年一年、心の太陽を持ち続け、明るく暖かく熱いものにしたいと思います。

田中 太司：利用者さんの笑顔を見られるだけで、僕は救われています。ありがとう。

林 昌之：肉体改造！安心安全の極上newボディーを目指します！

原 貴志：幅広い人と会い、視野を広げる一年にします。利用者さんの個性を大切にします。

尾関 伸子：今年の抱負は、当たり前と思っていることを、大切にしたいです。

西村 駿斗：利用者さんからまた来てほしいと思われるようなヘルパーを目指して頑張ります！

新居 茉莉：マイペース

坪倉 匡平：支援・生活・趣味において技術面で出来ることを各一つずつ増やしていきたい。そのために新しい事にチャレンジする。

松下 常大：一人暮らしがしたい！

高橋 彩：大学院2年目に入り、修士論文と就職活動を頑張りたいと思います！

澤田 恵介：いい曲が聴きたい！

澤田 美貴：今年の私の抱負は、ジャズを上手く弾きこなす事！です。皆さんも何か好きな事を見つけて楽しい一年にして下さいね！

山岡 揚子：昨年生まれた子が多くの人に出会えるよう一緒にいろんな所に出かける事が目標です。

山口 幸恵：仕事もプライベートも楽しみながら進めていく！そして…今年の夏は海に潜る！！

長谷川明仁：聖闘星矢のフィギアを集める！！

北本 晴雄：この4月から当事者メンバーになります！よろしくお願いします！おめでとう、俺

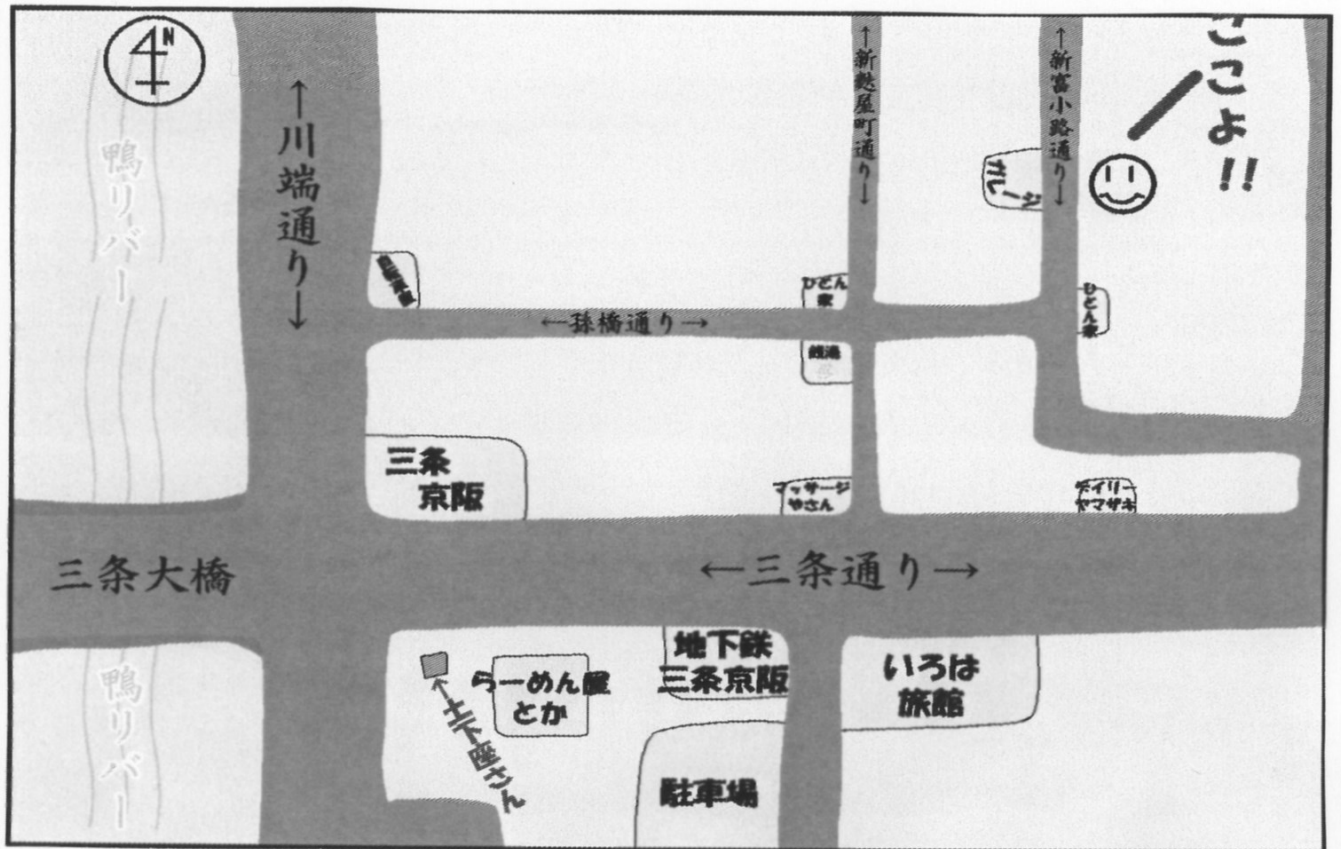
☆

じりつせいかつ ねんかん かつどうけいかく  
**●自立生活センタースリーピースの年間の活動計画**

<p>つき</p> <p>月</p>	<p>かつどうけいかく</p> <p>活動計画</p>
1	<p>○<small>きかんしげんこうし</small>機関紙原稿締め切り (末日)</p>
2	<p>○<small>きかんしほつこう</small>機関紙発行 (下旬)</p>
3	<p>○<small>じりつせいかつ</small>自立生活について<small>つた</small>伝える会 (ご利用者<small>かぞく</small>ご家族/下旬)</p>
4	<p>○<small>たいけんこうざ</small>ピアカン体験講座開催の準備 (初旬)  <small>えぬひーおーほうじん</small>ONPO法人25年度事業報告/決算・26年度事業計画/予算原案完成 (末日)</p>
5	<p><small>えぬひーおーほうじん</small>ONPO法人25年度事業報告/決算・26年度事業計画/予算検討・加筆・修正 (初旬)  <small>たいけんこうざ</small>ピアカン体験講座のピラ配り <small>えぬひーおーほうじん</small>ONPO法人理事会 (中旬)</p>
6	<p><small>えぬひーおーほうじんそうかい</small>ONPO法人総会 (初旬)  <small>たいけんこうざ</small>ピアカン体験講座開催 (中旬) <small>きかんしげんこうし</small>機関紙原稿締め切り (末日)</p>
7	<p>○<small>かい</small>まったり会チラシ作成 (初旬) <small>きかんしほつこう</small>機関紙発行 (下旬)  <small>かい</small>まったり会チラシ配り (下旬)</p>
8	<p>○<small>かいかいさい</small>まったり会開催</p>
9	<p>○<small>ばべきゅー</small>イベント (BBQ?・ご利用者<small>かぞく</small>ご家族 職 員全て / 初旬)  <small>きかんしげんこうし</small>機関紙原稿締め切り (末日)</p>
10	<p>○<small>たいけんこうざ</small>ピアカン体験講座内容検討 (初旬) <small>ほうねんかい</small>まったり忘年会の内容検討 (初旬)  <small>きかんしほつこう</small>機関紙発行 (下旬)</p>
11	<p>○<small>たいけんこうざ</small>ピアカン体験講座のピラ配り <small>かい</small>まったり会チラシ配り (中旬)</p>
12	<p>○<small>たいけんこうざ</small>ピアカン体験講座開催 <small>ほうねんかいかいさい</small>まったり忘年会開催</p>



## ●アクセス



【開所日】 ○月曜～金曜（日祝、8/13-15、12/30-1/3 を除く）

【開所時間】 ○朝10時～夕方6時 開所時間外は、転送電話で対応します



# ●スリーピースの活動を応援してくれる後援会員のかた大募集！！

後援会員 (団体) 一口以上 3,000円 (個人) 一口以上 1,000円

\*後援会員のかたには機関誌をお送りします。(なお、スリーピース利用者の方には無料でお送りしています)

## 【振込先】

三菱東京UFJ銀行 京都支店 (店番431) 普通 3084788

特定非営利活動法人スリーピース 理事長 白杉真

## 編集後記

2014年度第1号、いかがでしたか。1月、2月は朝夕の気温差が激しく、『寒暖差アレルギー』というものにかかり、ティッシュとマスクを手放せない状態が続いておりました。ああ、早く暖かくなれないかなあ(;\_ \_) (はる)

発行日 / 2014年03月01日

編集 / 特定非営利活動法人スリーピース

連絡先 / 〒606-8365

京都市左京区新富小路通仁王門下る讚州寺町223

ルシエル三条大橋106

TEL : 075-751-2711 / FAX : 075-275-8736

E-mail : threepeace\_kyoto@yahoo.co.jp